

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-253515

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月21日

(51) Int.Cl.⁶A 6 1 H 15/00
23/06

識別記号

3 2 0

F I

A 6 1 H 15/00
23/06

3 2 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平10-110033

(22) 出願日

平成10年(1998) 3月16日

(71) 出願人 539052779

兵庫県三木市宿原1263-142

(72) 発明者 岩村 正儀

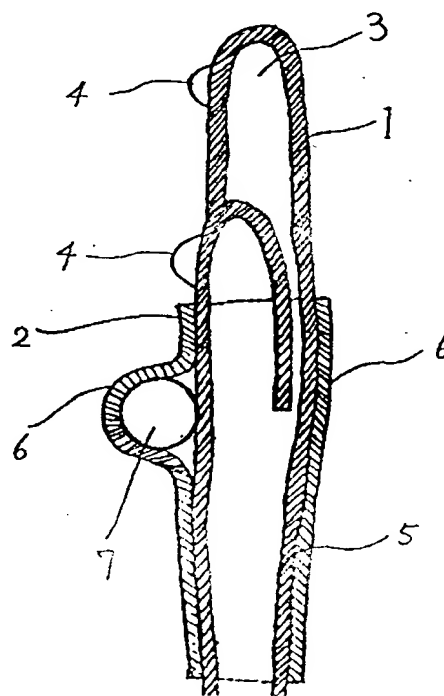
兵庫県三木市宿原1263-142

(54) 【発明の名称】 マッサージ用手袋

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、手袋の手の平側の指部先端に突起を取り付け、手袋の指部の根元から下部の二重部分にボールを挿入した手袋を手に嵌めて、マッサージを受ける人の筋肉痛および肩こりなどの鬱血した患部を、揉む、押す、叩く等のマッサージ効果を高めて行なうことができ、素手でマッサージをする大きな労力の軽減を図るものとなるマッサージ用手袋を得ることにある。

【解決手段】 手袋の手の平側となる5本の指部において、指部の先端に突起物を取り付け、その5本の指部の根元から手首の絞りゴム部まで、手袋を二重構造にした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 手袋の手の平側となる5本の指部において、指部の先端に突起物を取り付け、その5本の指部の根元から手首の絞りゴム部まで、手袋を二重構造にしたことを特徴とするマッサージ用手袋。

【請求項2】 前記手袋において、5本の指部の根元から手首の絞りゴム部までを二重構造にして、内部にボールを入れるようにしたことを特徴とするマッサージ用手袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は手に嵌めてマッサージに用いる手袋に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、手袋の手の平側に突起物を取り付けたもの、多数の突起がついたものがあつた。また、マッサージにおいては押圧ローラー、パイププレート、低周波などの電動の機器がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】いままで人体の各部分で起こる筋肉痛および肩こりなどには、色々な自動マッサージ機があるが、マッサージにリラクゼーション効果を高めることにおいて、人体には人によるきめこまかなマッサージを必要とすると共に、マッサージを行なう人には素手で大きな力を必要とする為、疲労が大きい問題があつた。

【0004】本発明は、手袋の手の平側の指部先端に突起を取り付け、手袋の指部の根元から下部の二重部分にボールを挿入した手袋を手に嵌めて、マッサージを受ける人の筋肉痛および肩こりなどの鬱血した患部を、揉む、押す、叩く等のマッサージ効果を高めて行なうことができ、素手でマッサージをする大きな労力の軽減を図るものとなるマッサージ用手袋の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】手袋の手の平側となる5本の指部において、指部の先端に突起物を取り付け、その5本の指部の根元から手首の絞りゴム部まで、手袋を二重構造にした手段を講じたものである。

【0006】また、5本の指部の根元から手首の絞りゴ

ム部までの手袋が二重構造となり、その内部にボールを入れられるようにしている。

【発明の実施の形態】前記のような構成により、本発明の手袋を手に嵌め、マッサージを受ける人の筋肉痛および肩こりの患部を、揉む、押す、叩く等の動作により、例えば、揉むことにより、手袋の指部先端の突起が鬱血状態で固い患部に刺激を与えて揉み解し、押す動作においては、手袋の二重構造部分の内部に入れたボールで患部を押して筋肉を和らげることができるものである。

10 【0007】次に、発明の実施の形態を実施例にもとづき図面を参照して説明する。図1において示す実施例では、手袋1の手の平側2となる5本の指部3において、指部3の先端に突起物4を取り付け、指部3の根元から手首の絞りゴム部5まで、手袋1を二重構造部分6にして、ボール7を入れるようにしている。

【0008】また、図2に示す断面図では、手袋1の指部3の根元から手首の絞りゴム部5までの二重構造部分6に、ボール7を入れた状態を示している。

【0009】

20 【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する。

【0010】本発明のマッサージ用手袋により、マッサージを行なう人が大きな労力を必要とせず、患部となる筋肉に刺激を与え、血行を良くしてマッサージの効果を高めて行なえるものである。

【0011】

【図面の簡単な説明】

本発明の実施例を示す斜視図である。

【図 1】本発明の実施例の要部を示す断面図である。

30 【図 2】

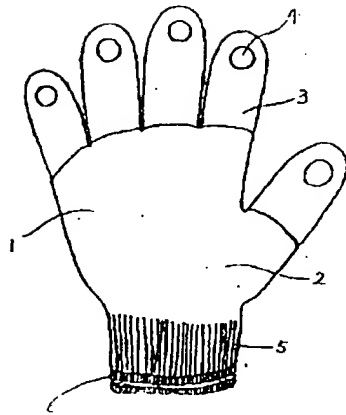
【符号の説明】

- 1 手袋
- 2 手の平側
- 3 指部
- 4 突起物
- 5 絞りゴム部
- 6 二重構造部
- 7 ボール

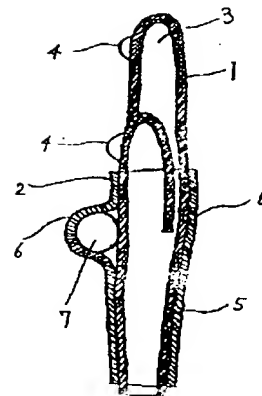
(3)

特開平11-253515

【図1】



【図2】



DERWENT-ACC-NO: 1999-583974
DERWENT-WEEK: 199950
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Glove for massage

PATENT-ASSIGNEE: IWAMURA M[IWAMI]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0110033 (March 16, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES	MAIN-IPC	
JP 11253515 A	September 21, 1999	N/A
A61H 015/00		000

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 11253515A	N/A	1998JP-0110033
March 16, 1998		

INT-CL_(IPC): A61H015/00; A61H023/06

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11253515A

BASIC-ABSTRACT: NOVELTY - Protrusions (4) are attached at the end of fingers

(3). An aperture rubber part (5) is formed at the wrist part. A double structure part (6) is formed from the root of the fingers to the aperture rubber part. A ball (7) is provided inside the double structure part.

USE - For massage in diseased part.

ADVANTAGE - Large labor is not needed for massaging. Blood circulation is improved by massaging.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows sectional view of glove.

Fingers 3

Protrusions 4

Aperture rubber part 5

Double structure part 6

Ball 7

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/2

TITLE-TERMS:
GLOVE MESSAGE

DERWENT-CLASS: P33

SECONDARY-ACC-NO:
Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-431547